

I 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1 協会の概要、組織等

(1) 協会の概要

当協会は、関東及び静岡県の沿岸海域において、モーターボート、ヨット、遊漁船、瀬渡船等レジャー用小型船に対する海難防止活動を実施するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展に寄与することを目的として、事業計画及び収支予算に則り事業活動を行っている。

(2) 組織

① 役員 (令和8年3月31日現在)

理事 19名 (常勤1名)

監事 2名

顧問 2名

相談役 2名

② 職員 2名

③ 事務所 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLCE 馬車道 TEL 045-201-7754 Fax 045-201-7758

④ 会員の状況(令和8年3月31日現在)

会員の種別	前年度末	入会	退会	増減	現在数
団体会員	47	0	0	0	47
個人会員	656	12	66	△54	602
賛助会員	36	0	1	△1	35
合計	739	12	67	△55	684

⑤ 海上安全指導員及びパトロール艇の状況(令和8年3月31日現在)

区分	前年度末	新規指定	指定取消	増減	現在数
海上安全指導員	311	6	14	△8	303
安全パトロール艇	125	8	11	△3	122

2 事業報告

(1) 理事会、総会

① (みなし理事会)

令和7年4月18日(提案日 令和7年4月10日)

* 令和6年度事業報告及び収支決算報告の承認に関する件

* 令和7年度通常総会の開催の件

② (理事会)

令和7年度第1回理事会(令和7年5月23日開催)

*役員改選の件

*現在までの職務の執行状況について

③ (総会)

令和7年度通常総会(令和7年5月23日開催)

*令和6年度事業報告及び決算報告の承認に関する件

*役員改選の件

*報告事項

・令和7年度事業計画書及び収支予算書に関する件

・その他

④ (理事会)

令和7年度第2回理事会(令和8年3月13日)

*令和8年度事業計画及び収支予算承認の件

*みなし理事会開催の件

*報告事項

・令和7年度事業概要及び収支決算概要について

・現在までの業務執行状況について

(2) 各種委員会への参加

事務局	委員会等名称	出席者	回数
国土交通省関東運輸局	関東地区舟艇振興対策連絡会議	専務理事	(1)
(公社)日本海難防止協会	全国海難防止強調運動実行委員会	会長	1
	全国海難防止団体等連絡調整会議	会長・専務	1
	液化水素プラットフォーム事業に伴う大型船安全対策検討委員会	会長	4
東京湾海難防止協会	東京港新海面処分場建設工事等船舶航行安全対策検討委員会	会長	2
	東京港新海面処分場建設工事等船舶航行安全協議会	専務理事	2
	川崎港臨港道路航行安全検討委員会	会長	2
	東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル航行安全対策調査検討会議	会長	2
	東京港処理水圧送施設更新に伴う船舶航行安全検討委員会	会長	1
	東京湾海難防止協会地域連絡会	専務理事	1
	海の安全運動推進連絡会議	会長	2
	京浜港津波対策検討会	専務理事	2
東京都品川区	目黒川航行マナー向上委員会	専務理事	0
横浜市	放置自動車及び沈没船に関する廃物判定委員会	専務理事	2
横浜港ボート天国推進連絡協議会	横浜港ボート天国推進連絡協議会総会	専務理事	1
	横浜港ボート天国実行委員会	専務理事	1
(公財)海技資格協力センター	評議員会	会長	2

合計		27回
----	--	-----

()はweb開催又は書面決議となった会議

(3) 海の安全運動

年間を通じた運動から、海難の発生状況に応じて対象と目的を定めてキャンペーンを展開した。

実施期間	内容	重点事項
令和7年4月19日～5月6日	春の事故ゼロキャンペーン	プレジャーボートの海難防止 ウォーターアクティビティにおける海難防止
令和7年5月11日～5月31日	霧海難ゼロキャンペーン	視界制限時における海難防止
令和7年6月10日～6月30日	台風海難ゼロキャンペーン	台風等荒天時における海難防止
令和7年7月16日～7月31日	海の事故ゼロキャンペーン	一般船舶及びプレジャーボートの海難防止 ウォーターアクティビティにおける海難防止
令和7年7月16日～8月31日	夏の事故ゼロキャンペーン	一般船舶及びプレジャーボートの海難防止 ウォーターアクティビティにおける海難防止
令和7年10月1日～10月10日	秋の事故ゼロキャンペーン	プレジャーボート及び遊漁船の海難防止 ウォーターアクティビティ(釣り中)における海難防止

(4) 海上安全活動(公益目的事業1-1)

① 海上安全指導員連絡調整会議

各支部において海上安全指導員による連絡調整会議が開催された。

月	支部	開催場所	参加人数
6	横浜支部	横浜防災基地	30名
	横須賀・湘南支部	交流プラザ	45名
	千葉支部	千葉海上保安部	15名
	しみず支部(清水)	清水海上保安部	20名
7	しみず支部(御前崎)	御前崎海上保安署	7名
	茨城支部	茨城海上保安部	6名
	東京支部	TOKYO ミナトリエ	20名
	伊豆支部	熱海立花旅館	30名
12	横須賀・湘南支部	横須賀海上保安部	10名
合計		9回	169名

② 海上保安官と海上安全指導員との合同パトロール

各支部会員、安全パトロール艇を使用して海上保安官との合同安全パトロールを実施、救命胴衣の着用やパンフレットを配布して航行の安全、海難防止等を指導した。

実施日	支部別
4月29日	千葉(浦安、船橋、木更津)
5月3日	千葉(木更津、館山)
5月24日	千葉指導員港内巡視
7月19日	千葉(浦安、稲毛)
7月19日	しみず(清水港)
7月27日	横浜
7月27日	伊豆(熱海)

9月6日	横須賀・湘南（東京湾）
10月4日	東京
12月20日	千葉（木更津）
合計	10回（14か所）

③ 海上安全指導員によるパトロール活動状況

令和7年1月～令和7年12月の間、海上安全指導員による小型船舶安全確保のため実施した活動状況

担当海上保安部署	安全パトロール		訪船指導		安全教育	安全啓発	訓練参加 (行事を含む)	海難救助
	指導隻数	指導人数	指導隻数	指導人数				
茨城	5	5	13	18	3	5	0	0
銚子	36	40	10	15	2	8	7	0
勝浦	13	19	27	40	4	6	4	3
千葉	46	81	129	210	13	50	12	0
木更津	2	5	1	2	1	95	0	0
東京	71	147	119	219	13	65	13	4
横浜	196	315	62	98	33	32	15	2
横須賀	625	809	219	282	17	59	63	21
下田	147	323	60	157	23	36	62	6
清水	111	190	91	159	6	19	26	2
御前崎	255	98	301	116	34	64	49	2
計	1,507隻	2,032人	1,032隻	1,316人	149回	441回	251回	40回

④ マリンコンパス（情報通信技術（ICT）を活用した小型船舶の動静等情報把握）の普及協力

⑤ 「Boat Crew Seamanship Manual」の普及推進
無線講習会参加者等6冊販売

(5) 海上安全講習会等（公益目的事業1-2）

① 各支部海上安全講習会

各支部において海上安全講習会が実施された。

	支部	開催場所・事業所名	参加人数
4月	横須賀・湘南	葉山マリーナ	40名
	横浜	横浜バイサイドマリーナ	50名
5月	千葉	千葉オーシャンヨットクラブ	18名
6月	千葉	浦安マリーナ	20名
7月	伊豆	熱海立花旅館	30名
	横浜	横浜ヨット協会	30名
9月	横浜	杉田漁友会	20名
10月	横浜	横浜クルージングクラブ	15名
2月	横浜	横浜クルージングクラブ	15名
合計		8回	217名

② 無線従事者養成課程講習及び航海実技講習

イ 船舶共通通信システムが整備され、国際 VHF 需要の高まりにより、これを促進するため無線従事者資格養成課程講習を開催している。

ロ 海技免状を取得して間がない方、航海の経験が無い方等を対象に、実習船を使

用して東京港内、横浜港内を航海して実技講習を開催している。

講習名	実施日・場所	受講者
無線従事者資格養成課程講習 (2月4日現在)	4月12日・13日(葉山) 5月17日18日(沼津) 5月25日(葉山) 6月14日・15日(横浜) 7月12日13日(横浜) 8月2日3日(横浜) 8月31日(葉山) 9月7日(沼津) 10月18日19日(夢の島) 11月9日(沼津) 12月13日14日(横浜) 1月17日18日(横浜) 2月1日(べい伊卜) 3月8日(べい伊卜)	138名
合計	14回(22日)	138名
航海実技講習(夜間)	5月9日、6月20日(横浜港)	7名
航海実技講習(昼・夜間)	4月19日、10月25日、11月8日(東京港)	9名
合計	5回	16名

(6) 広報活動(公益目的事業1-3)

- ① 横浜ボートフェア2025(9月26日~28日)
会場の横浜ベイサイドマリーナにおいて、チラシ、パンフレット等を配布して、海の安全確保について広報活動を行った。
- ② 協会会報誌
「小安協ニュース」9月、2月の2回発行し、会員等に配布して当協会の活動の周知に努めた。
- ③ インターネット
ホームページ(<https://www.shoankyo.or.jp>)にて航行の安全、海難防止などの情報を発信した。

(7) 無線電話運用の確立と普及活動(公益目的事業1-4)

- ① 国際VHF海岸局を的確に運用することにより、東京湾周辺海域における小型船の国際VHF利用者の利便性を高めるための普及、促進を図る。
- ② 国際VHF利用者の増加を図るため、無線活用方法等について周知活動を実施し、普及・促進に努めた。

(8) 安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と促進(公益目的事業2-1)

本年度は天候(猛暑)もあり、体験乗船等について実施はなかった。

(9) イベントへの協力(公益目的事業2-2)

各支部行事等参加・協力

月	支部別	協力イベント
4	伊豆	熱海海上花火大会警戒(2日)
5	伊豆	熱海海上花火大会警戒
		下田地区黒船祭海上花火大会警戒
6	伊豆	熱海海上花火大会警戒
7	伊豆	熱海海上花火大会警戒
	横浜	横浜港ボート天国警戒

	東京	東京ベイ・オープンヨットレース（旧スバルカップ）警戒
8	千葉	花火警戒
	伊豆	熱海海上花火大会警戒（4日）
	しみず	清水みなと祭り花火大会警戒
9	千葉	千葉みなと・さんばしまつり協力
	伊豆	熱海海上花火大会警戒（2日）
10	千葉	JFE ちばまつり協力
	伊豆	熱海海上花火大会警戒
11	横浜	横浜ボートフェア 2024 広報活動
	伊豆	熱海海上花火大会警戒
12	伊豆	熱海海上花火大会警戒（×3）
R8/1	伊豆	下田港海上安全祈願祭協力
合計		25回